

校務 DX 計画

校務 DX 計画

校務 DX の現状

本町では、4校全校で児童生徒の端末持ち帰りやクラウドサービスを利用した保護者の欠席等の連絡を完全にデジタル化し、調査アンケート、各種便り、学校への提出資料等についてもデジタル化を進めている。また、デジタル起案を行う等、汎用クラウドツールを利用した校務DXについても徐々に進んできている。

校務 DX 計画

校務支援システムでクラウドサービスを利用した保護者と学校の連携

令和6年10月よりクラウド連携した校務支援システムを導入し、令和7年度より保護者に対してもアプリを利用してデジタル化を一層進める計画である。内容は、これまで行ってきた保護者からの欠席等の連絡、保護者宛通知に加え、新たに予定や年間計画、通知表閲覧、家庭環境情報、学習記録、活動記録等を校務支援システムで保護者と共有することとなる。セキュリティにおいては、十分な配慮のもと、段階的に導入していこうと考えている。児童生徒の情報を校務支援システムで一元化することにより、保護者や職員にとってシンプルで利用しやすいものとなり、生み出された時間を有効的に使えるようになればと考える。また、心の健康観察、出欠情報、指導記録をデータ管理することで、児童生徒の悩みや困り感のサインにいち早く気づき、悩みを抱える児童生徒や家庭に寄り添った対応をしていく。

校務 DX による働き方改革

町内全小中学校共通の校務支援システムとクラウド環境を整備することにより、学校における事務処理を軽減し、児童生徒と向き合う時間や教材研究の時間を確保する。その際、クラウド上にポータルサイトを設置して情報を管理し、校務を一元化することによって情報の保存場所を分かりやすくするとともに、情報共有できるようにすることで働き方改革につなげていく。

今後の計画(令和 7 年～10年)

課題	・クラウド環境を利用した保護者との連携 ・情報管理の一元化 ・校務 DX による働き方改革
----	---

施策	・校務支援システムの効果的な運用 ・ポータルサイトの設置
----	---

成果指標	【GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト (学校向け)】 ・クラウド環境を利用した校務 DX をしている学校 100% ・FAX でのやり取り・押印を見直した学校 100%
------	---